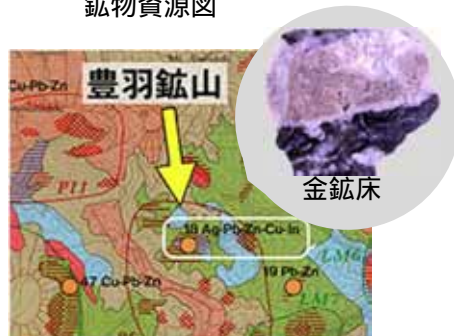


# 地質情報

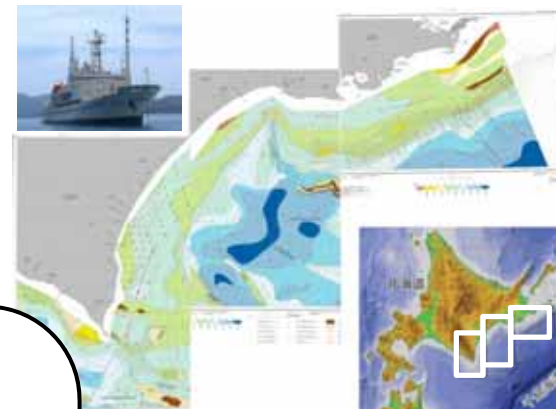
海陸シームレス地質図



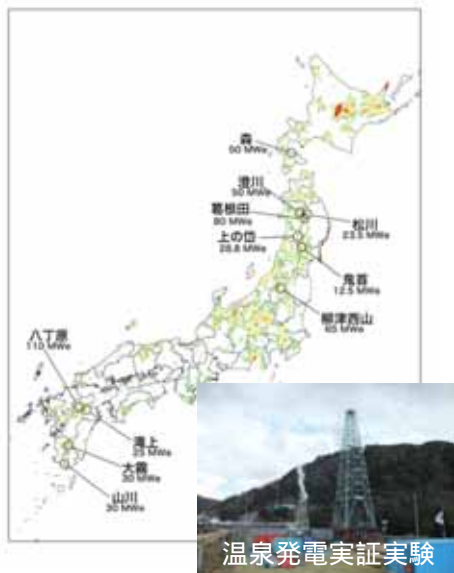
鉱物資源図



海洋地質図



地熱ポテンシャルマップ



地質図幅



活断層データベース  
・火山地質図

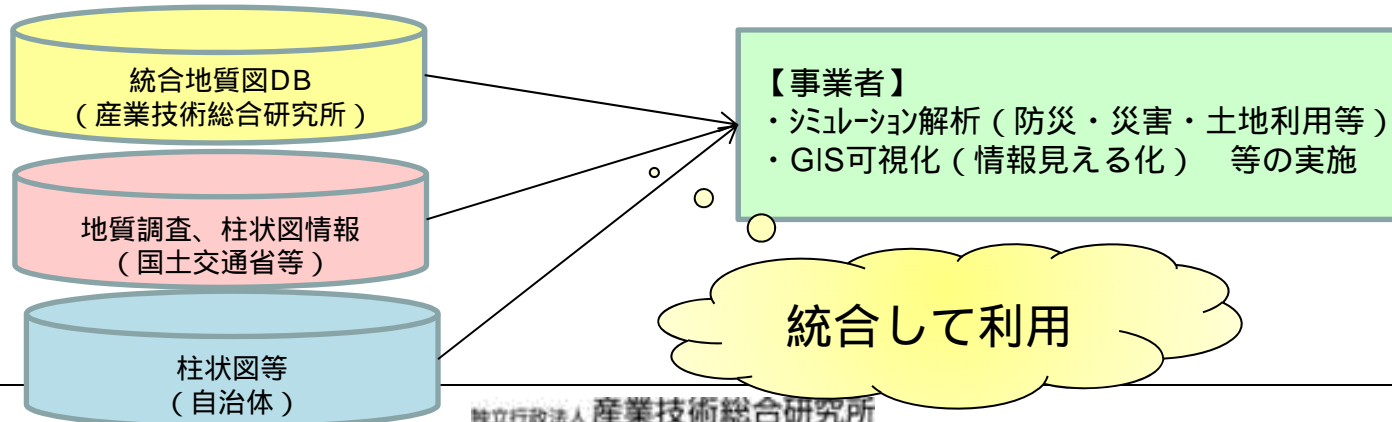


# 地質データに対する民間からのニーズ

「gコンテンツ流通推進協議会」などを通じて、民間事業者からのニーズを収集しました。

分野	ニーズ（事業者例）
リスクマネジメント	土壌汚染、地下水汚染などの分析に利用したい等（コンサルティング会社など）
価値の算出	積算時の適正価格の算出等（建設、損保、不動産など）
土木	断層や岩盤の分布や性状を把握することで、候補地や工法等を検討し建設計画を策定等（建設など）
防災	ハザードマップの精度の向上等（都市開発など）
公共工事	新規工事時の調査費の削減等（建築など）

（民間事業者の利用したい形（例））



## 【参考】現状の地質データの使われ方

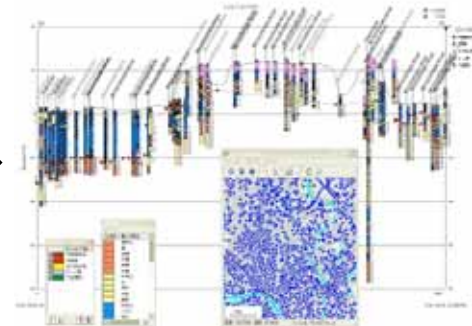
いくつかの事業者からヒアリングを行い、実際の使われ方を伺いました。その多くが紙媒体からの手入力によるデータ作成であり、その紙媒体の提供を求めるところから行われていました。産業技術総合研究所より電子的に公開しているものもありますが、網羅性を求められるボーリング情報では、多くが紙媒体になっていました。

ボーリング柱状図

調査名 ○○共同清水調査(その2)  
事業・工事名 一般国道○○号建設事業

ボーリング名	0-2	調査位置	○○県○○市○○町○○	北緯	34° 58' 53.2000"
発注機関	国土交通省○○地方整備局○○事務所○○課	調査期間	1999-05-01 ~ 1999-05-20	東経	139° 49' 18.2000"
調査者名	株式会社○○土木研究所	調査者	△△△△△	ボーリング	手動式
孔口標高	12.25m	主井径	○○○	調査方法	○○○
終孔標高	12.00m	副井径	△△△△△	ハンマー	標準型

手作業で  
基本データの入力  
層厚、土質名の入力  
深度、相対密度などの入力



電子的に解析を実施

土質・地層データベース

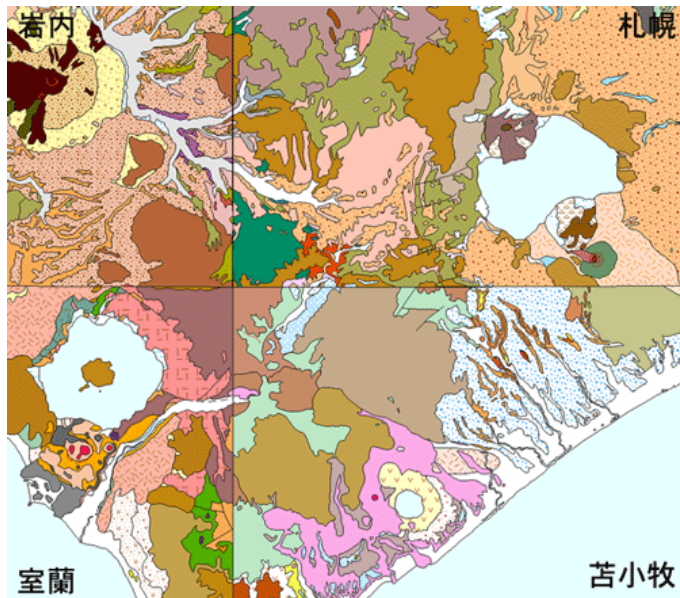
土質・地層記号	土質・地層記号	土質・地層記号	土質・地層記号	土質・地層記号	土質・地層記号
1 100 粘土	2 100 粘土	3 100 粘土	4 100 粘土	5 100 粘土	6 100 粘土
7 100 粘土	8 100 粘土	9 100 粘土	10 100 粘土	11 100 粘土	12 100 粘土

産総研は、平成23年1月に「ボーリング柱状図入力システム」を公開した（ただし、「地質・土質調査成果電子納品要領（案）」に則った情報を対象としている）

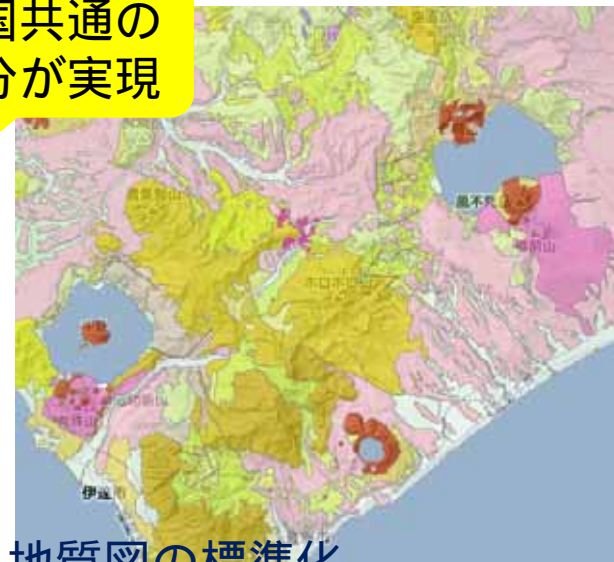
ツール提供URL

<http://gsj3dm.muse.aist.go.jp/software/boring/index.html>

# 地質図の進化



全国共通の区分が実現



地質図の標準化

